

今週（8月22日から8月26日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、先週末までの上昇相場から一転し、日を追う毎にレート水準が低下する展開となった。無担保コールO/N物は、週初は▲0.025～▲0.01%近辺の出会いが中心であったが、調達額を減少させた先が複数見られた事などを受け、ビッドサイドは下値を探る展開となり、週後半は▲0.05～▲0.03%のレンジまで低下しての出会いとなった。

ターム物は、ショートタームを中心に、▲0.03～▲0.02%近辺で引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、週初535兆円程度からスタートし、25日に国庫短期証券の償還などを受け540兆円弱まで増加する展開となった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、▲0.10～▲0.085%のレンジでの取引となった。週を通して大きな変動要因が無く、足元GCは落ち着いた展開となった。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、動意なく閑散な中、レート水準は横ばい圏での推移となった。26日に実施された3M物の入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも底堅く推移した。

短国買入オペは、23日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、平均落札利回較差、按分利回較差ともに+0.026%と弱めの結果となった。

●CP市場

今週は、25日、30日の発行集中日があり、石油・小売・化学・電気・ガス等、複数の業態で大型発行が見られた。週間の金額ベースでは発行超となっており、市場残高は26日時点で29兆円台に達していると思われる。

発行レートについては、日銀の適格担保銘柄で概ね0%から浅いプラス圏での決着となっている。

また、26日にはCP等買入オペが予定通り4,000億円で実施された。結果は、按分レート+0.001%、平均レート+0.022%と前回(按分0.000%、平均+0.001%)比で按分、平均ともに上昇となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/22 (月)	28,794.50	0.220	137.20	△ 0.014	△ 0.088	5,353,300
8/23 (火)	28,452.75	0.215	137.28	△ 0.022	△ 0.092	5,348,000
8/24 (水)	28,313.47	0.220	136.90	△ 0.031	△ 0.096	5,342,600
8/25 (木)	28,479.01	0.225	136.94	△ 0.038	△ 0.101	5,396,000
8/26 (金)	28,641.38	0.215	136.72	△ 0.039	△ 0.097	5,391,700

来週（8月29日から9月2日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/29 (月)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				英SummerBankHoliday
8/30 (火)	7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	2Y 28,000億円 9/1発行	交付税借入 11,450億円 9/9借入		6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/31 (水)	函館市金融経済懇談会において中川審議委員講演 7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) 8月の消費動向調査(内閣府 14:00)				8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値
9/1 (木)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	10Y 27,000億円 9/2発行			7月の米建設支出 8月のISM 製造業景況指数
9/2 (金)	8月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	TB3M 56,000億円 9/5発行			8月の米雇用統計 7月の米製造業新規受注・出荷・在庫

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/29 (月)	300	▲ 5,300	▲ 5,000	国債補完 CP買入 社債買入	6,200 ▲ 200 ▲ 100		5,900	900	TB3M発行▲56000償還58000
8/30 (火)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500				0	▲ 3,500	
8/31 (水)	1,500	▲ 2,500	▲ 1,000	CP買入 全店共通 新型コロナオペ	▲ 5,000 ▲ 205,000	4,000	▲ 206,000	▲ 207,000	交付税借入▲12000期日11000
9/1 (木)	500	▲ 29,500	▲ 29,000				0	▲ 29,000	財政融資資金の回収 2Y発行▲28000償還6400
9/2 (金)	500	▲ 50,500	▲ 50,000				0	▲ 50,000	年金・労働保険料揚げ、法人税・消費税揚げ 普通交付税 10Y発行▲27000 交付税借入▲12000期日10500
週間合計	2,300	▲ 90,800	▲ 88,500	—	▲ 204,100	4,000	▲ 200,100	▲ 288,600	

8/29は日銀予想、8/30以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、レート上昇要因に限られる中、O/N物のレート水準は、横ばい圏で落ち着いた展開が予想される。レポ市場のGCは、▲0.13～▲0.08%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、9月2日に3M物の入札実施が予定されている。また、6日に実施が予想される短国買入オペのオファー額は、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、月末発行が予定されており、市場残高がどこまで積み上がるのか注目が集まる。

主要なイベントは、国内では、30日に7月の労働力調査(完全失業率)、7月の一般職業紹介状況(有効求人倍率)、海外では、31日に8月のユーロ圏消費者物価指数速報値、9月1日に8月のISM 製造業景況指数、2日に8月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入